



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月8日

上場会社名 株式会社 きらやかホールディングス 上場取引所 東証第二部  
 コード番号 8378 URL <http://www.kirayaka-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 澤井 誠介  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 佐川 章 TEL (023)-628-3944 (代表)  
 グループ統括マネージャー

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	30,121	(4.1)	2,383	(—)	1,125	(—)
19年3月期第3四半期	28,907	(14.7)	△10,493	(—)	△10,491	(—)
19年3月期	39,614		△9,001		△9,764	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	8	14	7	79
19年3月期第3四半期	△83	1	—	—
19年3月期	△77	9	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率 (注)	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	1,207,485	38,260	3.1	239 49
19年3月期第3四半期	1,271,196	31,781	2.4	247 54
19年3月期	1,218,159	31,821	2.5	247 97

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しており、「銀行法52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産等に照らしそれらの自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第20号)」に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

なお、銀行法に基づく「連結自己資本比率」の予想値等については、11頁をご参照ください。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
19年3月期第3四半期	—	—
20年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は四半期配当制度を導入しておりません。

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)【参考】

平成20年3月期の通期の業績予想については、平成19年11月19日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、現在実施しております早期退職制度による本年度の業績に与える影響については、現在のところ確定しておりませんので、業績予想には織り込んでおりません。

(%表示は、通期は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	41,000	( 3.4 )	3,100	( — )	1,600	( — )	11	28

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 [ 除外 1社(社名 株式会社山形しあわせ銀行) ]

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[ (注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。 ]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、銀行持株会社として設立され、株式会社殖産銀行、株式会社山形しあわせ銀行両行およびグループ会社の経営管理業務を行ってまいりました。予定どおり平成19年5月、両行は合併し「株式会社きらやか銀行」として新たなスタートを切ることができました。また、平成19年4月には、子会社のカード会社2社、リース会社2社をそれぞれ合併し「きらやかリース株式会社」、「きらやかカード株式会社」といたしました。今後は、きらやか銀行を中核としまして、地域総合金融グループとして事業の展開を図ってまいります。

このような状況下、当第3四半期における経常収益は、前年同期比12億14百万円増加して301億21百万円、経常利益は23億83百万円となり、四半期純利益は11億25百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における財政状態については、総資産は、前連結会計年度末比106億74百万円減少して1兆2,074億85百万円となり、純資産額は、前連結会計年度末比64億39百万円増加して382億60百万円となりました。

譲渡性預金を含めた総預金は、当第3四半期末残高は前連結会計年度末比191億94百万円減少して1兆1,199億37百万円となりました。

また、国債、投資信託及び個人年金保険商品などの預かり資産残高は、前連結会計年度末比227億円増加して1,780億円となりました。

貸出金は、当第3四半期末残高は前連結会計年度末比72億81百万円増加して8,610億30百万円となりました。

有価証券は、当第3四半期末残高は前連結会計年度末比319億円増加して2,418億26百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想については、平成19年11月19日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、現在実施しております早期退職制度による本年度の業績に与える影響については、現在のところ確定しておりませんので、業績予想には織り込んでおりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外：株式会社山形しあわせ銀行

株式会社殖産銀行と株式会社山形しあわせ銀行は、平成19年5月7日に合併を行い、新銀行名が株式会社きらやか銀行となりました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間(連結)財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

なお、四半期財務・業績に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

〔簡便な手続きの内容〕

貸倒引当金の計上基準

当四半期の貸倒引当金は、平成19年9月末の自己査定をベースとし、12月末までに法的破綻事象の発生、延滞の発生・進行等の客観的な事実があった債務者については、債務者区分の見直しを行った上で12月末時点の債権残高に対して、以下の通り計上しております。

【破綻先・実質破綻先債権】

上記により算定した債権残高から担保の処分可能見込額等を控除し、その残額を計上しております。

なお、取立不能見込額については、債権額から直接減額しております。

【破綻懸念先債権】

上記により算定した債権残高から担保の処分可能見込額等を控除した残額に対し、平成19年9月期において適用した貸倒実績率に基づき計上しております。

【上記以外の債権】

上記により算定した債権残高に対し、平成19年9月期において適用した貸倒実績率に基づき計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更 該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 〔第3四半期末〕 (A)	当四半期末 〔平成20年3月期〕 〔第3四半期末〕 (B)	増 減 (B) - (A)	(参考)前期末 (平成19年3月期 末) (C)	増 減 (B) - (C)
(資 産 の 部)					
現 金 預 け 金	46,100	34,073	△ 12,027	89,738	△ 55,665
コールローン及び買入手形	57,800	22,800	△ 35,000	20,000	2,800
商 品 有 価 証 券	14	214	200	15	199
金 銭 の 信 託	100	98	△ 2	100	△ 2
有 価 証 券	226,982	241,826	14,844	209,926	31,900
貸 出 金	893,716	861,030	△ 32,686	853,749	7,281
外 国 為 替	794	578	△ 216	744	△ 166
そ の 他 資 産	13,007	15,233	2,226	11,626	3,607
有 形 固 定 資 産	33,032	30,378	△ 2,654	32,353	△ 1,975
無 形 固 定 資 産	4,059	4,734	675	4,664	70
繰 延 税 金 資 産	6,507	6,018	△ 489	6,056	△ 38
支 払 承 諾 見 返	13,318	11,810	△ 1,508	12,030	△ 220
貸 倒 引 当 金	△ 23,938	△ 21,301	2,637	△ 22,842	1,541
投 資 損 失 引 当 金	△ 299	△ 11	288	△ 5	△ 6
資 産 の 部 合 計	1,271,196	1,207,485	△ 63,711	1,218,159	△ 10,674
(負 債 の 部)					
預 金	1,182,867	1,115,837	△ 67,030	1,138,031	△ 22,194
譲 渡 性 預 金	7,100	4,100	△ 3,000	1,100	3,000
コールマネー及び売渡手形	2,025	1,940	△ 85	1,889	51
借 用 金	6,660	5,204	△ 1,456	6,571	△ 1,367
外 国 為 替	13	21	8	15	6
社 債	12,000	12,000	-	12,000	-
そ の 他 負 債	10,642	10,758	116	9,583	1,175
賞 与 引 当 金	26	-	△ 26	21	△ 21
役 員 賞 与 引 当 金	4	-	△ 4	6	△ 6
退 職 給 付 引 当 金	596	396	△ 200	526	△ 130
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	-	299	299	540	△ 241
利 息 返 還 損 失 引 当 金	-	14	14	9	5
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	-	3,095	3,095	-	3,095
繰 延 税 金 負 債	93	31	△ 62	95	△ 64
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	3,482	3,259	△ 223	3,364	△ 105
負 の の れ ん	585	453	△ 132	551	△ 98
支 払 承 諾	13,318	11,810	△ 1,508	12,030	△ 220
負 債 の 部 合 計	1,239,415	1,169,224	△ 70,191	1,186,337	△ 17,113
(純 資 産 の 部)					
資 本 金	10,000	10,000	-	10,000	-
資 本 剰 余 金	12,501	19,515	7,014	12,501	7,014
利 益 剰 余 金	11,315	12,583	1,268	12,216	367
自 己 株 式	△ 558	△ 100	458	△ 561	461
株 主 資 本 合 計	33,258	41,997	8,739	34,155	7,842
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 6,420	△ 8,432	△ 2,012	△ 7,092	△ 1,340
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 0	△ 2	△ 2	△ 0	△ 2
土 地 再 評 価 差 額 金	4,713	4,570	△ 143	4,540	30
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 1,707	△ 3,865	△ 2,158	△ 2,552	△ 1,313
少 数 株 主 持 分	230	128	△ 102	218	△ 90
純 資 産 の 部 合 計	31,781	38,260	6,479	31,821	6,439
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,271,196	1,207,485	△ 63,711	1,218,159	△ 10,674

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期 (A)	当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期 (B)	増 減 (B) - (A)	(参考)前期 (平成19年3月期)
経 常 収 益	28,907	30,121	1,214	39,614
資 金 運 用 収 益	18,613	18,166	△ 447	24,723
(うち貸出金利息)	( 16,625 )	( 16,034 )	( △ 591 )	( 22,099 )
(うち有価証券利息配当金)	( 1,910 )	( 1,907 )	( △ 3 )	( 2,500 )
役 務 取 引 等 収 益	8,441	8,031	△ 410	11,320
そ の 他 業 務 収 益	262	236	△ 26	347
そ の 他 経 常 収 益	1,589	3,687	2,098	3,222
経 常 費 用	39,400	27,737	△ 11,663	48,615
資 金 調 達 費 用	1,640	3,031	1,391	2,465
(うち預金利息)	( 885 )	( 2,387 )	( 1,502 )	( 1,526 )
役 務 取 引 等 費 用	5,870	5,705	△ 165	7,947
そ の 他 業 務 費 用	239	63	△ 176	342
営 業 経 費	15,635	14,335	△ 1,300	20,648
そ の 他 経 常 費 用	16,014	4,601	△ 11,413	17,212
経 常 利 益 (△は経常損失)	△ 10,493	2,383	12,876	△ 9,001
特 別 利 益	2,392	591	△ 1,801	2,618
特 別 損 失	132	1,664	1,532	872
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△は税金等調整前四半期(当期)純損失)	△ 8,233	1,310	9,543	△ 7,254
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	537	248	△ 289	460
法 人 税 等 調 整 額	1,570	△ 68	△ 1,638	1,913
少 数 株 主 利 益	150	5	△ 145	136
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益 (△は四半期(当期)純損失)	△ 10,491	1,125	11,616	△ 9,764

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	10,000	11,550	22,362	△131	43,782
当四半期中の変動額					
株式交換に伴う増加高	-	951	-	△199	751
剰余金の配当	-	-	△573	-	△573
四半期純損失	-	-	△10,491	-	△10,491
自己株式の取得	-	-	-	△14	△14
自己株式の処分	-	-	-	3	3
自己株式の処分差損益	-	-	△0	-	△0
土地再評価差額金の取崩	-	-	13	-	13
連結子会社の増加	-	-	4	-	4
連結子会社の持分増加	-	-	-	△215	△215
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
当四半期中の変動額合計	-	951	△11,047	△427	△10,523
平成18年12月31日残高	10,000	12,501	11,315	△558	33,258

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	△6,371	-	4,726	△1,644	1,049	43,186
当四半期中の変動額						
株式交換に伴う増加高	-	-	-	-	-	751
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△573
四半期純損失	-	-	-	-	-	△10,491
自己株式の取得	-	-	-	-	-	△14
自己株式の処分	-	-	-	-	-	3
自己株式の処分差損益	-	-	-	-	-	△0
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	-	13
連結子会社の増加	-	-	-	-	-	4
連結子会社の持分増加	-	-	-	-	-	△215
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)	△48	△0	△13	△62	△819	△881
当四半期中の変動額合計	△48	△0	△13	△62	△819	△11,405
平成18年12月31日残高	△6,420	△0	4,713	△1,707	230	31,781

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	10,000	12,501	12,216	△561	34,155
当四半期中の変動額					
優先株式発行	3,500	3,500	-	-	7,000
資本金から資本剰余金への振替	△3,500	3,500	-	-	-
剰余金の配当(注)	-	-	△382	-	△382
剰余金の配当	-	-	△324	-	△324
四半期純利益	-	-	1,125	-	1,125
自己株式の取得	-	14	-	△14	△0
自己株式の処分	-	-	-	475	475
土地再評価差額金の取崩	-	-	△52	-	△52
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
当四半期中の変動額合計	-	7,014	367	460	7,841
平成19年12月31日残高	10,000	19,515	12,583	△100	41,997

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	△7,092	△0	4,540	△2,552	218	31,821
当四半期中の変動額						
優先株式発行	-	-	-	-	-	7,000
資本金から資本剰余金への振替	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当(注)	-	-	-	-	-	△382
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△324
四半期純利益	-	-	-	-	-	1,125
自己株式の取得	-	-	-	-	-	△0
自己株式の処分	-	-	-	-	-	475
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	-	△52
株主資本以外の項目の当四半期中の変動額(純額)	△1,339	△1	29	△1,312	△90	△1,402
当四半期中の変動額合計	△1,339	△1	29	△1,312	△90	6,439
平成19年12月31日残高	△8,432	△2	4,570	△3,865	128	38,260

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成19年6月の定時株主総会における決議項目であります。

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	10,000	11,550	22,362	△131	43,782
連結会計年度中の変動額					
株式交換に伴う増加高	-	951	-	△199	751
剰余金の配当(注)	-	-	△312	-	△312
剰余金の配当	-	-	△254	-	△254
役員賞与(注)	-	-	△4	-	△4
当期純損失	-	-	△9,764	-	△9,764
自己株式の取得	-	-	-	△19	△19
自己株式の処分	-	-	△0	4	3
土地再評価差額金の取崩	-	-	185	-	185
連結子会社の増加	-	-	4	-	4
連結子会社の持分増加	-	-	-	△215	△215
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
連結会計年度中の変動額合計	-	951	△10,146	△430	△9,626
平成19年3月31日残高	10,000	12,501	12,216	△561	34,155

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	△6,371	-	4,726	△1,644	1,049	43,186
連結会計年度中の変動額						
株式交換に伴う増加高	-	-	-	-	-	751
剰余金の配当(注)	-	-	-	-	-	△312
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△254
役員賞与(注)	-	-	-	-	-	△4
当期純損失	-	-	-	-	-	△9,764
自己株式の取得	-	-	-	-	-	△19
自己株式の処分	-	-	-	-	-	3
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	-	185
連結子会社の増加	-	-	-	-	-	4
連結子会社の持分増加	-	-	-	-	-	△215
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△721	△0	△185	△908	△830	△1,739
連結会計年度中の変動額合計	△721	△0	△185	△908	△830	△11,365
平成19年3月31日残高	△7,092	△0	4,540	△2,552	218	31,821

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成19年3月期 第3四半期）

（単位：百万円）

	銀行業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
経常収益	24,423	7,369	31,792	(2,885)	28,907
経常費用	34,462	6,764	41,226	(1,826)	39,400
経常利益 (△は経常損失)	△ 10,038	604	△ 9,434	(1,059)	△ 10,493

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 「その他の事業」はリース業等であります。

当四半期（平成20年3月期 第3四半期）

（単位：百万円）

	銀行業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
経常収益	25,235	6,602	31,837	(1,716)	30,121
経常費用	22,566	6,110	28,677	(940)	27,737
経常利益	2,668	491	3,160	(776)	2,383

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 「その他の事業」はリース業等であります。

(参考) 前期（平成19年3月期）

（単位：百万円）

	銀行業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
経常収益	33,591	9,519	43,110	(3,496)	39,614
経常費用	41,849	9,069	50,919	(2,303)	48,615
経常利益 (△は経常損失)	△ 8,257	448	△ 7,808	(1,192)	△ 9,001

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 「その他の事業」はリース業等であります。

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期及び前年同四半期

連結会社はすべて国内で事業を営んでおりますので、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

〔国際業務経常収益〕

当四半期及び前年同四半期

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

(参考) 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の状況

平成20年3月期第3四半期(平成19年4月1日から平成19年12月31日)における四半期情報について、お知らせします。

1. 損益の状況

(1) 【きらやかホールディングス(連結)】

当第3四半期の損益状況は、当社グループ全体で経常収益は、前年同四半期比12億14百万円増加して301億21百万円となり、経常利益は23億83百万円となりました。

また、当四半期純利益は、11億25百万円となりました。

(単位：百万円)

	当四半期(A) 〔平成20年3月期 第3四半期〕 (9か月間)	前年同四半期(B) 〔平成19年3月期 第3四半期〕 (9か月間)	増減 (A)-(B)	(参考) 前期 (平成19年3月期) (12か月間)
経常収益	30,121	28,907	1,214	39,614
連結粗利益	17,633	19,567	△1,934	25,636
資金利益	15,134	16,973	△1,839	22,257
役務取引等利益	2,326	2,571	△245	3,373
その他業務利益	172	23	149	5
営業経費	14,335	15,635	△1,300	20,648
その他経常損益	△914	△14,425	13,511	△13,989
貸倒償却引当費用(△)	634	13,632	△12,998	14,619
有価証券関係損益	△55	518	△573	911
その他の経常損益	△223	△1,310	1,087	△281
経常利益 (△は経常損失)	2,383	△10,493	12,876	△9,001
特別損益	△1,072	2,259	△3,331	1,746
税金等調整前四半期(当期)純利益 (△は税金等調整前四半期(当期)純損失)	1,310	△8,233	9,543	△7,254
法人税住民税及び事業税	248	537	△289	460
法人税等調整額	△68	1,570	△1,638	1,913
少数株主利益	5	150	△145	136
四半期(当期)純利益 (△は四半期(当期)純損失)	1,125	△10,491	11,616	△9,764

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)  
+ (その他業務収益-その他業務費用)

3. 貸倒償却引当費用=貸倒損失額+貸倒引当金繰入額

(2) 【きらやか銀行(単体)】

殖産銀行と山形しあわせ銀行の合併に伴い、消滅会社である山形しあわせ銀行の閉鎖決算(平成19年4月1日から平成19年5月6日までの分)の実施により、閉鎖日までの純利益はきらやか銀行の利益剰余金に反映されている関係上、当第3四半期の損益については前年比較が困難なことから、(注)1の欄に記載しております閉鎖決算計数を除いた当第3四半期の損益の状況のほかに、(注)2の欄に閉鎖決算計数を合算した当第3四半期の損益の状況を記載して前年比較を行っております。

当第3四半期の損益状況は、経常収益は、前年同四半期比1億42百万円増加の2億47億85百万円となり、経常利益は1億451百万円、当四半期純利益は5億36百万円となりました。

また、コア業務純益は、前年同四半期比3億12百万円減少の30億81百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成20年3月期 第3四半期 (注)1 (9か月間)	平成20年3月期 第3四半期(A) (注)2 (9か月間)	平成19年3月期 第3四半期(B) (注)3 (9か月間)	比 較 (A)-(B)	(参考)前期 (平成19年3月 期)(注)3 (12か月間)
経 常 収 益	23,417	24,785	23,143	1,642	32,101
① 業 務 粗 利 益	16,183	17,208	18,700	△ 1,492	24,714
コア業務粗利益(①-②)	16,001	17,046	18,722	△ 1,676	24,770
資 金 利 益	14,100	15,070	16,868	△ 1,798	22,127
役 務 取 引 等 利 益	1,902	1,982	1,906	76	2,706
そ の 他 業 務 利 益	180	155	△ 73	228	△ 119
② (うち国債等債券損益)	182	162	△ 21	183	△ 55
経費(△除く臨時処理分)	13,137	13,965	15,329	△ 1,364	20,118
人 件 費	5,782	6,231	7,968	△ 1,737	10,238
物 件 費	6,604	6,950	6,568	382	8,892
税 金	750	783	791	△ 8	987
③ 業 務 純 益 (一般貸倒繰入前)	3,045	3,243	3,371	△ 128	4,595
コア業務純益(③-②)	2,863	3,081	3,393	△ 312	4,651
④ 一般貸倒引当金繰入額	△ 563	△ 545	2,999	△ 3,544	1,784
業 務 純 益	3,609	3,789	372	3,417	2,811
臨 時 損 益	△ 2,234	△ 2,337	△ 11,235	8,898	△ 11,878
⑤ 不良債権処理損失額	1,301	1,319	10,655	△ 9,336	12,100
貸倒償却(④+⑤) 引当費用	738	773	13,654	△ 12,881	13,884
株 式 等 関 係 損 益	△ 215	△ 223	560	△ 783	954
そ の 他 臨 時 損 益	△ 716	△ 795	△ 1,140	345	△ 732
経 常 利 益 (△は経常損失)	1,374	1,451	△ 10,862	12,313	△ 9,067
特 別 損 益	△ 910	△ 981	2,240	△ 3,221	1,712
税引前四半期(当期)純利益 (△は税引前四半期(当期)純損失)	463	470	△ 8,622	9,092	△ 7,354
法人税住民税及び事業税	29	33	37	△ 4	43
法 人 税 等 調 整 額	△ 100	△ 100	1,724	△ 1,824	2,122
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益 (△は四半期(当期)純損失)	534	536	△ 10,385	10,921	△ 9,520

(注)1. 平成20年3月期第3四半期については、山形しあわせ銀行の閉鎖決算(平成19年4月1日から平成19年5月6日までの分)計数を除いております。

2. 平成20年3月期第3四半期については、山形しあわせ銀行の閉鎖決算計数を合算して表示しております。

3. 平成19年3月期第3四半期および平成19年3月期については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の単体計数を合算して表示しております。

## 2. 金融再生法ベースのカテゴリによる開示

当第3四半期末の金融再生法開示債権額は、平成19年3月末に比べ23億円増加して、703億円となりました。また、総与信残高に占める金融再生法開示債権比率は、平成19年3月末比0.15ポイント増加して、7.94%となりました。

【きらやか銀行（単体）】 (単位：億円) (参考) (単位：億円)

	平成19年12月末	平成18年12月末	平成19年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78	92	85
危険債権	468	448	440
要管理債権	157	191	154
開示債権合計	703	732	680
正常債権	8,159	8,409	8,042
総与信残高	8,863	9,142	8,723
総与信残高比	7.94%	8.01%	7.79%

(注) 平成18年12月末および平成19年3月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の単体計数を合算して表示しております。

## 3. 自己資本比率（国内基準）

平成20年3月末のきらやかホールディングスの連結自己資本比率は、70億円の資本増強等により8.30%程度、連結Tier1比率は、5.20%程度と予想しております。  
また、きらやか銀行の連結自己資本比率は、8.10%程度、連結Tier1比率は、5.00%程度と予想しております。

(1) 【きらやかホールディングス（連結）】 (参考)

	平成20年3月末(予想値)	平成19年3月末(実績)
連結自己資本比率	8.30%程度	7.47%
連結Tier1比率	5.20%程度	4.34%

(2) 【きらやか銀行（連結）】 (参考)

	平成20年3月末(予想値)	平成19年3月末(実績)
連結自己資本比率	8.10%程度	7.26%
連結Tier1比率	5.00%程度	4.23%

(注) 1. 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

2. 平成19年3月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の連結計数を合算して表示しております。

#### 4. 時価のある有価証券の評価差額

当第3四半期末のその他有価証券の評価差額は、平成19年3月末に比べて、評価損が1.4億円増加して8.3億円となりました。

(1) 【きらやかホールディングス(連結)】 (単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成19年12月末				平成18年12月末				平成19年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	2,087	△ 83	4	88	1,894	△ 62	18	80	1,719	△ 69	9	79
株式	116	△ 24	3	27	149	8	17	8	130	△ 1	9	10
債券	1,890	△ 54	0	54	1,634	△ 70	0	70	1,518	△ 66	0	66
その他	81	△ 5	0	5	110	0	0	1	71	△ 1	0	1

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成19年12月末				平成18年12月末				平成19年3月末			
	帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	227	0	1	1	267	△ 2	1	3	267	△ 1	1	3

(2) 【きらやか銀行(連結)】 (単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成19年12月末				平成18年12月末				平成19年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	2,085	△ 84	3	88	1,892	△ 64	15	80	1,717	△ 71	7	79
株式	115	△ 24	2	27	148	6	14	8	128	△ 3	7	10
債券	1,890	△ 54	0	54	1,634	△ 70	0	70	1,518	△ 66	0	66
その他	80	△ 5	0	5	109	△ 0	0	1	70	△ 1	0	1

(注) 1. 平成18年12月末および平成19年3月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の連結計数を合算して表示しております。

2. 各四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額と時価との差額を計上しております。

3. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

	平成19年12月末				平成18年12月末				平成19年3月末			
	帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	227	0	1	1	267	△ 2	1	3	267	△ 1	1	3

## 5. デリバティブ取引

デリバティブ取引は、お客様の要望にお応えするために取組むものなどが中心で、投機性の高い取引は行っておりません。

### 1. 【きらやかホールディングス（連結）】

- (1) 金利関連取引 該当ありません。  
 (2) 通貨関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	5	△ 0	△ 0	17	△ 0	△ 0	11	△ 0	△ 0
	為替予約	0	0	0	0	△ 0	△ 0	0	△ 0	△ 0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			△ 0			△ 0			△ 0

- (3) 株式関連取引 該当ありません。  
 (4) 債券関連取引 該当ありません。  
 (5) 商品関連取引 該当ありません。  
 (6) クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

### 2. 【きらやか銀行（連結）】

- (1) 金利関連取引 該当ありません。  
 (2) 通貨関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成18年12月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	5	△ 0	△ 0	17	△ 0	△ 0	11	△ 0	△ 0
	為替予約	0	0	0	0	△ 0	△ 0	0	△ 0	△ 0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			△ 0			△ 0			△ 0

(注) 平成18年12月末及び平成19年3月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の連結計数を合算して表示しております。

- (3) 株式関連取引 該当ありません。  
 (4) 債券関連取引 該当ありません。  
 (5) 商品関連取引 該当ありません。  
 (6) クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

## 6. 預金等・貸出金残高

当第3四半期末の預金等残高は、平成19年3月末比203億円減少して、1兆1,208億円となりました。

また、当第3四半期末の貸出金残高は、平成19年3月末比61億円増加して、8,659億円となりました。

【きらやか銀行(単体)】

(単位:億円)

	平成19年12月末			平成18年12月末	平成19年3月末
		18年12月末比	19年3月末比		
預金等	11,208	△713	△203	11,921	11,412
うち個人預金	8,575	△251	△138	8,826	8,713
貸出金	8,659	△343	61	9,003	8,598
うち消費者ローン	2,370	△98	△77	2,468	2,448

(注)1. 平成18年12月末および平成19年3月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の単体計数を合算して表示しております。

2. 預金等には、譲渡性預金を含んでおります。

## 7. 中小企業等貸出金

積極的な取り組みにより地元中小企業への支援を強化しております。

【きらやか銀行(単体)】

(単位:%、億円)

	平成19年12月末			平成18年12月末	平成19年3月末
		18年12月末比	19年3月末比		
中小企業等貸出金比率	86.24	△1.94	△2.67	88.18	88.91
中小企業等貸出金残高	7,468	△483	△177	7,951	7,645

(注)平成18年12月末および平成19年3月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の単体計数を合算して表示しております。

## 8. 預かり資産残高

お客様のニーズの多様化に対応し、投資信託、個人年金保険等の販売に積極的に取り組んでまいりました結果、当第3四半期末の預かり資産残高は、平成19年3月末比227億円増加して、1,780億円となりました。

【きらやか銀行(単体)】

(単位:億円)

	平成19年12月末			平成18年12月末	平成19年3月末
		18年12月末比	19年3月末比		
投資信託	992	196	91	796	901
公共債(国債等)	102	7	8	94	93
個人年金保険	685	170	127	515	557
合計	1,780	374	227	1,405	1,552

(注)平成18年12月末および平成19年3月末については、殖産銀行と山形しあわせ銀行の単体計数を合算して表示しております。